

ナインに自信と元気みなぎる 9月8日 VS拓大で開幕 東都大学野球秋季リーグ戦(2部)



▲秋季リーグ戦へ懸命なトレーニングが続く

1部返り咲きを果たせなかった専大野球部は春季リーグ戦で何を果たしたのか？入れ替え戦での惜敗。そればかりが頭に残るが、専大ナインは悔しさと共に揺るぎない自信を手に入れていたのだ。

春季リーグ戦は公式戦未経験者が多かったが、初戦の国士大戦で快勝し、不安を一掃。その後も順調に勝ち星を積み重ねた。終わってみればわずか1カードで勝ち点を逃しただけだった。しかもそのカードは2部

優勝が決定した後の最終週で、主力を温存しての敗退だった。

「昨秋の時点でここまでのチームになるとは思わなかった。“練習をすれば勝てるんだ”ということに、選手たちは実際に勝つことで気付いたのだろう」と堀田一彦監督は言う。

確かに入れ替え戦後の練習の取り組み方も変わってきている。よく声が出て、実にいい雰囲気の中で練習をしている。時折見せる選手やコーチの笑顔も自信の表れのように見える。7月中旬の練習は走り込みなどの体力強化が中心だったが、北海道キャンプ(7月26日～8月7日)では、涼しい気候を生かして練習量を増やし、実践を交えた練習を行った。キャンプから帰るとすぐに他大とのオープン戦が始まり、9月8日の開幕戦まではあつという間だ。しかし、選手たちに焦りはない。松元政樹主将(商4・明德義塾高)を中心に確実なレベルアップを目指す。

普段は慎重な堀田監督も「10勝0敗で秋季リーグを乗り切り、1部に復帰したい」と強気の発言。自信に溢れた専大に期待大だ。(岩谷淳一・文2)

【ニュース専修8月号12面】

お見事！鈴木が優勝 山下、西村もベスト8 関東女子学生ゴルフ選手権



▲鈴木が力強いドライバーショット

関東女子学生ゴルフ選手権が7月22日から25日まで宮城県ニューワールドゴルフクラブで行われ、鈴木麻美(商4・武蔵野高)が見事優勝。また、山下乃子(経済3・安田女子高)と西村麻衣(商1・麻生高)がベスト8の成績を収めた。

鈴木は、予選でベスト16に残り、2日目からのマッチプレーに挑む。1、2回戦を順調に勝ち進むが、準決勝で苦しむ。18ホールでは決着がつかず、延長3ホールを戦った

末、決勝に進出。決勝では「自分を信じて落ち着いてプレーができた」というように安定したプレーを見せた。「勝ちたい」という気持ちを強く持って臨めたのが良かった。今回優勝できたことで自信がついた。全国でも上位にいけるよう、今以上にレベルアップを目指したい」と語った。精神的にもたくましさが増した鈴木が全国でどこまで上り詰めるのか、目が離せない。(高橋奈津子・文3)

男子ベスト8

男子の関東学生ゴルフ選手権(7月29日～8月1日、千葉県・鷹之台カンツリー倶楽部)では、伊波芳准(経済4・西原高)と原田大介(商2・大阪桐蔭高)の2人が準々決勝まで勝ち進んだものの敗れ、ベスト8。

【ニュース専修8月号12面】

ユニバーシアード出場6選手が意気込みを語る

8月21日から31日まで韓国・大邱で開かれるユニバーシアード競技大会に専大から4競技6人が出場する。この大舞台で彼らがどんな活躍を見せるのか？その期待を込め、意気込みを聞いた。

 <p>◇テニス部 道慶 知子 (経済4・四天王寺高)</p> <p>メダル獲得を目指し、自分の出来るベストを尽くします。</p>	 <p>◇バスケットボール部(男子) 佐藤 浩貴 (経営4・相洋高)</p> <p>リバウンド、ハイポストからのシュートなど、長身(2メートル4センチ)を生かしたプレーを意識したい。チームに貢献し、一つでも多く勝ちたい。</p>
 <p>◇バスケットボール部(男子) 波多野和也 (経営3・静岡学園高)</p> <p>普段どおりの自分のプレーをして、精一杯がんばります。</p>	 <p>◇バスケットボール部(男子) 大宮 宏正 (経済2・作新学院高)</p> <p>選手として選ばれた以上、最大限の力を発揮し、バスケットを楽しみたい。</p>
 <p>◇バスケットボール部(女子) 長南真由美 (経営3・山形市立商高)</p> <p>日本の代表なので緊張や不安はあるが、代表でいろいろなことを吸収してチームに還元させたい。</p>	 <p>◇フェンシング部 福田 佑輔 (経済4・東亜学園高)</p> <p>メダルが取れるように頑張ります。自分がどれだけ世界に通用するか挑戦したい。</p>

【ニュース専修8月号12面】